

国土交通省 関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 大間々・足尾砂防出張所 編集・発行
大間々砂防出張所：〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1204 Tel 0277-72-1664
足尾砂防出張所：〒321-1513 栃木県日光市足尾町向原5-17 Tel 0288-93-2151
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

砂防ボランティアとの合同施設点検

土砂災害防止月間（6月1日～30日）における活動として、6月15日に足尾砂防出張所管内において、渡良瀬川砂防ボランティア協会会員6名と事務所職員5名の計11名により合同施設点検を行いました。

当日は、施設の点検とともに砂防工事の経験談など、貴重なご意見を頂きました。

■砂防ボランティアとは

土砂災害の防止に貢献することを目的とし、土砂災害から地域住民を守るために、その意欲があり、砂防に理解や知識のある人々によるボランティア活動を行う方々の総称で、渡良瀬川砂防ボランティア協会は、平成9年5月に設立され、現在16名の会員で活動されています。



官民協働による 植樹活動30周年記念シンポジウム開催

令和8年6月27日（土）、官民協働の先駆けとして、平成8年の結成当時から当事務所と連携して植樹活動を行っているNPO法人足尾に緑を育てる会が、今年で植樹活動30年目の節目を迎え、「官民協働による植樹活動30周年記念シンポジウム」（主催：NPO法人足尾に緑を育てる会、後援：日光市、渡良瀬川河川事務所 他）が開催されました。

当日は来賓として日光市小林副市長にご出席をいただき、一般の参加者を含め約70名の参加がありました。当事務所からも職員が参加をしました。

なお、今までの植樹活動において、のべ24万人の参加があり、約32万本の苗木を植えています。「足尾の山に100万本の木を植えよう！」にはまだまだ時間がかかります。

パネルディスカッション

「官民協働の今後の在り方」をテーマにパネルディスカッションが行われ、パネラーとして、

- ・矢野智徳氏
（一般財団法人杜の財団代表理事）
- ・酒井佑一氏
（宇都宮大学農学部助教）
- ・当事務所副所長

らが登壇し、

「自然と共存する形が緑化促進につながる」
「煙害で土壌が完全に失われた足尾の緑化は、世界に誇れる事例」
「除草や老朽化した山腹工の対応など、国交省として出来る事は今後も協力したい」等、
植樹活動30年の歴史と成果、将来へ向けての課題などが話し合われました。



記念植樹

パネルディスカッションの後には、30周年を記念した植樹が、NPO法人「足尾に緑を育てる会」指導の下に、行われました。



夏休み前安全利用点検

砂防施設とその周辺は緑豊かな空間にあり、多くの人にレクリエーションの場としても利用されています。

このため、大間々・足尾の両砂防出張所では、利用者が増加するGW前と夏休み前に、一般の方が利用される砂防施設等（大間々：13箇所・足尾：16箇所）を中心に点検を行っています。

利用者の皆様におかれましては、安全確保に心がけて頂くと共に、ゴミの持ち帰りや周辺環境の保全等にもご協力をお願いします。



足尾砂防堰堤（足尾管内）
遊歩道転落防止柵の状況確認



鳥居川上流一号砂防堰堤（大間々管内）
フェンス・注意看板の状況確認

管内工事情報

R 7 松木山腹工（下桐久保沢）工事

工 期：R 8年6月9日～
R 9年3月31日
受注者：(株)佐藤組
場 所：日光市足尾町下桐久保沢地先

R 7 小滝川一号砂防堰堤工事

工 期：R 7年12月25日～
R 8年8月31日
受注者：大川建設(株)
場 所：日光市足尾町小滝地先

R 8 渡良瀬川管内砂防整備工事

工 期：R 8年6月22日～
R 9年2月10日
受注者：大川建設(株)
場 所：日光市足尾町及び群馬県みどり市外

R 7 小黒川砂防堰堤工事

工 期：R 7年10月22日～
R 9年1月29日
受注者：(株)山藤組
場 所：桐生市黒保根町下田沢地先



足尾砂防出張所管内工事の紹介

～ R7 小滝川一号砂防堰堤工事 ～

工事の概要

庚申川の土砂洪水氾濫を抑制し、下流域を土砂災害から保全するために砂防堰堤を施工します。現在、鉄筋挿入及びモルタル吹付にて掘削法面の保護を行っています。



大間々砂防出張所管内工事の紹介

～ R7 小黒川砂防堰堤工事 ～

工事の概要

小黒川の土砂洪水氾濫を抑制し、下流域を土砂災害から守るために**透過型砂防堰堤**の施工を行っています。

